

100年の時を越え、
創建時の色や形がよみがえる。

1914

2012

鉄道博物館所蔵

東京駅南側ドーム内部吹抜け(1914年)

復元された東京駅南側ドーム内部吹抜け(2012年)

Over The Century

東京の玄関として歴史を歩んできました。数えきれない思い出を見つめてきました。

戦災で形を変えていた東京駅丸の内駅舎が、世紀を越えこの秋ついに創建時の姿によみがえります。

それは、残っている部分を活かしながら原形に戻す「復元」。

これまでの100年に積み重ねられた歴史と文化を、これからの100年へ。

東京駅丸の内駅舎保存復元 2012年10月完成